

## 文化芸術交流実験室

2018/10 - 2018/12

Culture and Arts Exchange Laboratory



トークセッションとワークショップがセットとなった

新しい切り口のシリーズ企画です。

岡山県内の分野横断的な交流の

プラットフォームを目指します。

これまでになかった素敵な化学反応を、

みんなで起こしてみませんか？



各回：定員 30 名

当企画は、お昼をはさんでおりますため、  
各回内容に合わせてのランチ付きです。

(ランチ代1,000円は当日お支払ください)

15回目、16回目はランチが軽食になります。



architecture  
town planning  
performing arts  
welfare  
education  
photography  
music

literature  
cultural assets  
history  
traditional performing arts  
food



craft  
design  
fashion  
tea ceremony · flower arrangement

分野を超えてつながることから  
生まれるものを期待して



local vitalization cooperator  
international exchange  
art  
video  
calligraphy



おかやま文化芸術アソシエイツでは平成29年度より、岡山県内の優れた文化・芸術資源の掘り起こしや、その価値を県民の皆様にも再認識していただけるよう、調査研究事業を開始しました。

調査の過程で得られる新たな情報や、人材データをもとにして、文化・芸術と他分野との連携による新たな取り組みの提案や、ソーシャルインクルージョンの視点も盛り込んだレクチャーとワークショップを定期的に開催し、県内の人材や文化資源の領域横断的な出会いの場の創出と、ネットワーク構築を目指します。

この実験室に期待するのは、文化芸術コミュニティ内での交流はもちろん、福祉や教育、まちづくりなど様々な分野との交流に文化芸術の創造性を生かして、新しい取り組みが始まり、すべての人が文化芸術を楽しむことができる岡山が生まれることです。

主催：おかやま文化芸術アソシエイツ (公益社団法人岡山県文化連盟)  
・岡山県

問い合わせ先：086-234-2626



平成30年度  
文化芸術創造拠点  
形成事業



大月ヒロ子

おかやま文化芸術アソシエイツ  
プログラム・コーディネーター

武蔵野美術大学卒業後、板橋区立美術館学芸員として数多くのワークショップや展覧会を企画。その後独立して有限会社イデアを設立。九州国立博物館「あじっば」、国立歴史民俗博物館「たいけんれきはく」、大阪府立大型児童館big bang他で、コミュニケーションを誘発する新しい学びの場のデザインに取り組む。

平成25年、倉敷市玉島の実家を改装して、日本で初めてのクリエイティブリユース（地域から日常的に生み出される廃材をそのまま破棄せず、人のクリエイティビティ（創造性）を使って、これまでに見たこともないような素敵なモノに生まれ変わらせる取り組み）の拠点「IDEA R LAB」を開設し、全国から注目を浴びている。「IDEA R LAB」を中心としたコミュニティづくりは、これからの時代の地域づくりのあり方にも一石を投じることを予感させる。

[www.facebook.com/IDEARLAB](https://www.facebook.com/IDEARLAB)



おかやま文化芸術アソシエイツとは

岡山県文化連盟が持つ既存のネットワークを生かして、地域で生活する我々がその地域の文化を構成する資源（ヒト、コト、場所、お金等）についてよく知り、地域の未来を見据えた新たな価値の創造と多様なステークホルダーの共生について思考するために平成29年度から始動した地域アーツカウンシル機能です。プログラム・コーディネーターに大月ヒロ子さんを迎え、様々な取り組みを始めています。



公益社団法人 岡山県文化連盟  
おかやま  
文化芸術アソシエイツ



お申し込みはwebサイトより

[www.o-bunren.jp/lab-form](http://www.o-bunren.jp/lab-form)

Hiroko Otsuki



12 回目 10/20(土) 11:00-16:00 ※この回は別途 児島観光港▶松島 船賃 (往復1,200円)が必要になります。

「海から見る岡山」

古来から交通の大動脈として行き来が盛んであった瀬戸内海。海外と日本を結ぶ航路は、様々な文化芸術を私たちの暮らしにもたらしました。北前船が寄港した町は商業活動が活発になりました。鉄道の整備に伴い海運は衰退していきませんが、島々を巡り作物を集荷したり、石や砂利などの港湾整備の材料を運ぶ焼玉エンジン搭載の木造機帆船は、瀬戸内海らしい海運の象徴でした。そんな昭和の海側から陸を眺めると、何が見えるでしょう。私たちが失ったもの、そして、いまだに持ち続けているものを、豊富な映像や写真資料を見ながら考えてみます。

詳細についてはおかやま文化芸術アソシエイツのWEBページをご覧ください。

講師：高原次郎兵衛正伸（建築家、うなぎ漁師）\*1

在間宣久（前岡山県立記録資料館 館長）

加瀬野久志（船模型製作者）\*2

開催地：松島分校美術館

関連分野：歴史、文学、メディア、写真、建築、まちづくり、文化財、伝統芸能

● 松島分校美術館  
倉敷市下津井松島2563  
Facebook：hukiagebijyutukan



13 回目 10/28(日) 11:00-16:00

「岡山の中の異文化コミュニティー」

総社市には海外からやってきた方々とその家族が多く住んでいます。彼らにとって大切な住民同士の交流を促す総社ブラジリアンコミュニティー & インターナショナルフレンズの活動は、どのように生まれてきたのでしょうか。20数年前ブラジルからやってきて、今は総社市役所の職員として働く譚俊偉さんと、国境を越えて移住した人びとが、どのように母国（あるいは他国）にいる「家族」とのつながりを維持しているのか、映像を用いて調査研究を進めている大橋香奈さんとの対話から考えてみたいと思います。詳細についてはおかやま文化芸術アソシエイツのWEBページをご覧ください。

講師：譚俊偉（総社市役所市民生活部人権・まちづくり課国際・交流推進係）

大橋香奈（研究者、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程）\*1

映画上映：「移動する「家族」」撮影・監督 大橋香奈

開催地：きよね夢てらす

関連分野：国際交流、教育、福祉、料理、まちづくり、歴史、メディア

● きよね夢てらす  
総社市清音軽部666-6  
TEL：0866-92-0355 WEB：kiyoneyumeterasu.jimdo.com



14 回目 11/3(土・祝) 11:00-16:00

「建築探偵団 其の弐『団地』」

昭和28年に造られた老松団地は、現在では募集を停止している空き家率の高い団地となっていますが、住空間に加え植栽や駐車場など、豊かな環境も大変魅力的です。県営と市営の団地が隣接している点もユニークで、公営住宅史において標準型が生まれる直前の貴重な建築としても注目に値します。今回は、公共R不動産の菊地マリエさんにご登場いただき、ワークショップではフィールドワークをもとに、老朽化した団地の未来を考えたり、今後に向けて私達はどのように住まいを整えていけばいいのかなど、一緒に考えてみたいと思います。詳細についてはおかやま文化芸術アソシエイツのWEBページをご覧ください。

講師：石田尚昭（岡山市スポーツ・文化振興財団 常務理事）

菊地マリエ（公共R不動産 コーディネーター）\*1

開催地：住吉町の家 分福、老松団地

関連分野：建築、まちづくり、歴史、美術、デザイン

● 住吉町の家 分福  
倉敷市中央2-13-3  
TEL：086-527-6248 WEB：bunbuku.org



15 回目 11/16(金) 19:00-21:00 ※希望者のみ、翌11/17(土)にベネッセアートサイト直島でアーカイブ資料見学会を開催。但し、直島までの往復船賃と作品鑑賞料が必要。

「価値を紡ぐプロジェクトアーカイブ」

文化芸術活動の価値を広く届け、後世にも伝えるためには、活動そのものについてはもちろん、関連する様々な情報を記録・整理して、アーカイブ資産にしておくことが求められます。この回は参加しやすい2時間の設定。記録・アーカイブに関する基礎的なショートレクチャー、瀬戸内海の島々で展開されるベネッセアートサイト直島の事例紹介、備前を含む六古窯の情報発信などに関わってきた編集者を交えたディスカッションを行い、文化芸術だけではなく、まちづくりや教育・福祉的観点からの価値も視野に入れて考えます。詳細についてはおかやま文化芸術アソシエイツのWEBページをご覧ください。

講師：金廣有希子（公益財団法人 福武財団アーカイブ・セッション リーダー）\*1

多田智美（編集者、株式会社MUESUM 代表）\*2

橋本誠（アートプロデューサー、一般社団法人ノマドプロダクション 代表理事）\*3

開催地：東山ビル

関連分野：美術、メディア、まちづくり、教育、写真、工芸、出版、編集

● 東山ビル  
玉野市宇野1-7-3  
WEB：uno1-7-3.tumblr.com



16 回目 12/1(土) 15:00-19:00

「アーティストが作った料理 作家が作った料理」

パウル・クレーやサルバトーレ・ダリなどが残したレシピをみると、アーティストの人となり、生活のリズムや傾向、それぞれの作品を支えている哲学が見えてきます。また、文学者にも食にこだわる人が多いのも周知の事実。岡山県ゆかりの作家内田百閒等が書き残した、作品に出てくる郷土料理にはなにがあるでしょうか。創作は料理作りにも通じるところがあります。「つくること、たべること」を通じて創造的な場作りをしているネイバー・キッチン主宰者をナビゲーターに、ワークショップではパウル・クレーの日記や内田百閒の「餓鬼道肴蔬目録」を読みながら、彼等が残した料理のレシピを元に、料理作りにはチャレンジしてみたいと思います。詳細についてはおかやま文化芸術アソシエイツのWEBページをご覧ください。

講師：杉本克敬（バリスタ、ネイバーキッチン主宰、EXCAFE 代表）\*1

新藤信（日本パウル・クレー協会 代表）

開催地：クレド岡山3F カフェ goldilocks

関連分野：食、美術、メディア、福祉、教育、出版

● クレド岡山  
岡山市北区中山下1-8-45  
TEL：086-212-2525 WEB：www.cred-okayama.com



17 回目 12/24(月) 10:00-15:00 ※この回は別途 後楽園入園料 320円 (65歳以上112円)が必要になります。

「芸術文化の今 ソウルと岡山」

飛行機で1時間半という距離にある岡山とソウル。人の行き来も盛んですが、意外にそれぞれの芸術文化の現状は知らないもの。しかし、交流を深めることにより、それぞれの良さも見えてくるはず。ここ数年のうちにオープンしたソウル市内の様々な文化施設や、そこで行われている意欲的なプログラムの紹介をソウル市デザイン財団のユン・ソンジャさんに、また、ソウルと日本を行き来して演劇の活動を繰り返す演出家多田淳之介さんには芸術文化の草の根的な活動状況の報告などを聞きながら、岡山の今と照らし合わせていきたいと思っています。ミニワークショップは演劇とデザインの各分野を体験します。詳細についてはおかやま文化芸術アソシエイツのWEBページをご覧ください。

講師：多田淳之介（演出家・劇作家）\*1

ユンソンジャ 劉誠子（ソウルデザイン財団）\*2

開催地：岡山後楽園 鶴鳴館

関連分野：美術、メディア、教育、演劇、まちづくり、デザイン

● 岡山後楽園  
岡山市北区後楽園1-5  
TEL：086-272-1148 WEB：www.okayama-korakuen.jp

